

末期の心不全のはずから始まったドラマ

ところがそこからあらたなドラマの幕が開きます。

自宅に帰った時はご自分の家にいることも分からず、薬も飲まないという状態だった彼女がそこから数日で変化の兆しが現れました。

薬をホームヘルパーの促しで飲むようになりました。

朝にホームヘルパーが訪問するとベッドから離床しているようになりました。

食事をどんどんとるようにになりました。

オムツを外してトイレに行こうと移動していることも見られるようになりました。

(オムツを外して失禁もありますからこれからまた対策が必要ですが)

そして今は身体のむくみも取れてデイサービスの利用も再開しました。

「フミさん、ここはどこ？」と問うと「わたしの家」とあんた一体何を聞くのだと怪訝な顔で答えます。

家に帰ってわずか1ヶ月半でこれだけの劇的な変化です。いまや「看取り」は無くなりました。

この変化を「奇跡」だという人がいます。そうでしょうか？

ストレスのない生活

フミさんの暮らしを守るために寄り添うホームヘルパー、デイサービススタッフ、訪問看護、医師の力がきちんとその人に向き合えばこの結果は当たり前だと思います。

そのドラマが苦しい介護の世界でわたしたちに困難に立ち向かう力を与えてくれます。

このチームのメンバー、竹の里ホームヘルプ、あいケアコミュニティ訪問看護、竹の里ホームデイサービス、きょうと福祉倶楽部ホームヘルプ、きょうと福祉倶楽部ケアプラン、福祉用具のエイジング、成年後見人の司法書士事務所、訪問診療のクリニックそしてご家族。皆で喜びを共有してこれからも進みます。元気をフミさんが取り戻すにつれあらたな問題も生まれています。だけど、このドラマがわたしたちに与えてくれた力がその問題も解決していくことを確信しています。

介護に役立つ逸品

いつまでも口からおいしく食べたい フィルム型サプリメント「カプフィルム」

食事はいのちをつなぐために人間に必要な不可欠な行為です。

そして楽しみです。だからいつまでも口から安全に食事が摂れることが望ましいのですが、ご病気などで安全に摂れなくなってしまうことがあります。

そのために「もう食べることは出来ない」からと医師から胃瘻の造設や、チューブの留置が提案され、口から食べる楽しみがなくなってしまうのはとても気の毒です。もちろんやむを得ずそれらの提案を受け入れなければならないこともあるでしょう。

でもその前にこんな商品で嚥下状態の改善を試みてもいいのではないのでしょうか？

商品名は山田養蜂場の「カプフィルム」

食事の20分から40分前にカプサイシンでできた口の中で溶けるフィルムを口内で溶かすだけです。これは唐辛子の成分であるカプサイシンの刺激で嚥下反射を起こしやすくするものです。

インターネットや薬局で購入できます。

発売元 山田養蜂場

96枚（一ヶ月分）

商品を紹介した「薬事日報」

<https://onl.la/KHVHTwR>



新型コロナウイルス感染拡大に伴う
利用者みなさんへのお願い

●サービス利用中は可能な限りサービスご利用の方もマスクの着用をお願いします。
●利用者、同居の家族のかたの体調不良(発熱など)はあらかじめきょうと福祉倶楽部までご連絡ください。

有限会社 おとくに福祉研究所

きょうと福祉倶楽部

〒617-0824

長岡京市天神4丁目7-12 ハイソール101号

TEL 075-958-2560

FAX 075-957-2808

E-mail info@fukushi-club.com

